

経営比較分析表（令和5年度決算）

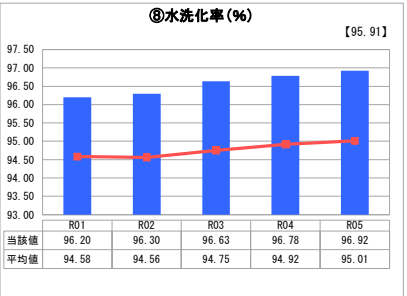
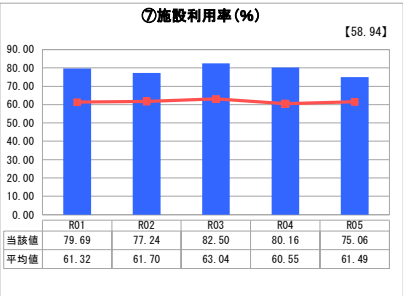
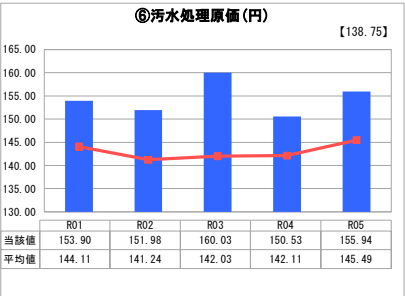
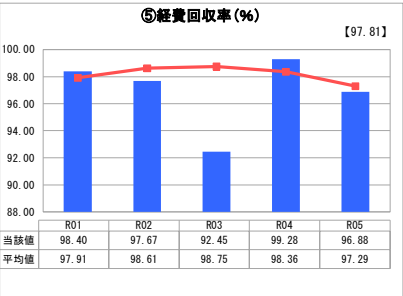
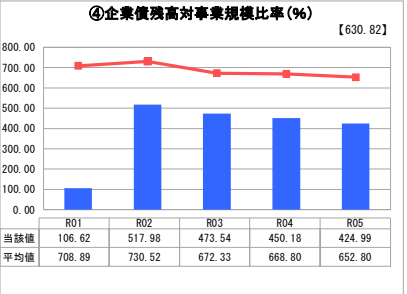
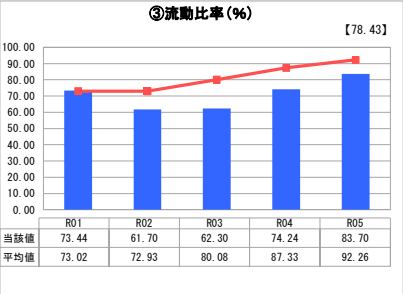
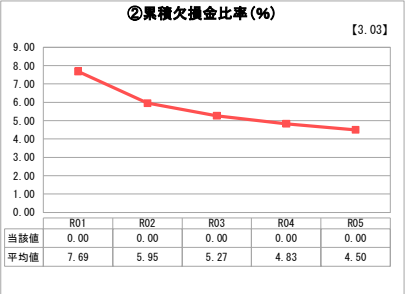
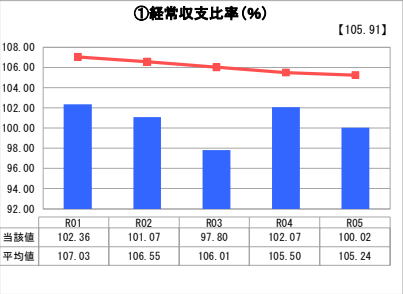
栃木県 宇都宮市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	74.72	84.78	63.87	2,695

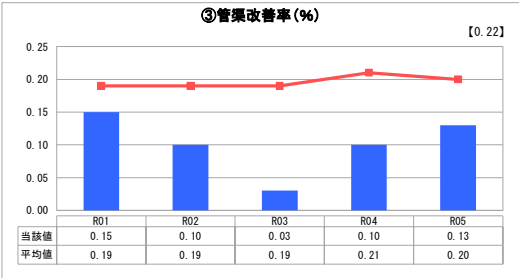
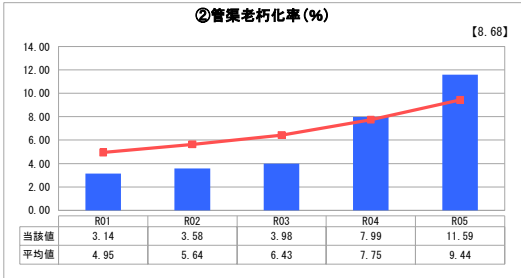
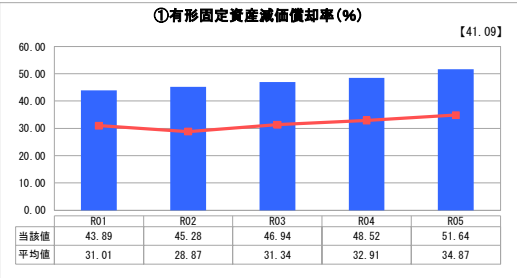
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
515,831	416.85	1,237.45
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
435,915	80.81	5,394.32

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、概ね100%を上回っており、処理に係る費用を経常的な収益で賄えている状況にある。

「③流動比率」は、翌年度当初の支払に備えるため、主に現金預金が増加し前年度比で増加したが、引き続き100%を下回っている状況にある。

「④企業債残高対事業規模比率」は、企業債の計画的な抑制を図ってきたことにより、減少傾向にある。

「⑤経費回収率」は、100%を下回って推移しており、令和5年度は汚水処理費の増加により、前年度比で減少した。

「⑥汚水処理原価」は、汚水処理費の増加により前年度比で増加した。

「⑦施設利用率」は、ほぼ横ばいで推移しており、「⑧水洗化率」は計画的な管渠の整備及び普及促進活動により、年々上昇傾向にある。

類似団体と比較すると、「①経常収支比率」や「③流動比率」が低くなっているものの、「④企業債残高対事業規模比率」や「⑦施設利用率」については、良好な数値となっていることから、相対的に効率的な経営が図られている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」「②管渠老朽化率」は、老朽化の進行により、上昇傾向にある。

「③管渠改善率」については、令和5年度は対象事業の増加に伴い、前年度より高くなった。

類似団体と比較すると、「①有形固定資産減価償却率」「②管渠老朽化率」が高くなっており、老朽化が進行している。

全体総括

類似団体に比べ効率的な経営が図られているが、老朽化が進行しており、今後、点検・調査結果を踏まえ、着実かつ計画的に更新工事などを進めるとともに、公共下水道事業を円滑に進めていくためには、資金需要などに対応しながら安定的な経営の維持に努めていく必要がある。

そのため、D・Xの推進や施設の効率的な維持管理など、汚水・雨水の処理費用の更なる抑制に取り組むとともに、経常収益の適切な確保に努めることで、経営の健全化・効率化を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。